



## 分散環境の同期化

Hewlett-Packard社のSAP Solution Managerによるカスタマイジング配信の事例

SAP Solution Managerによるカスタマイジング配信を利用することにより、システムおよびコンポーネント全体の設定を調和させることが可能です。Hewlett-Packard社をはじめ複数の企業が、この機能を活用し始めています。

非常に複雑で、大部分が複数の独立した構成から成り立っているITシステムランドスケープをどのように統合すべきか。こうした課題に直面していたのが、Hewlett-Packard (HP) 社です。グローバルプロジェクトのもと、カスタマイジングデータとマスターデータの両方を、1つのマスターシステムに移行し、統合する必要がありました。

これには、テキサス州にある中央アプリケーションチーム、セキュリティの専門家とサポート担当者、ヒューストンとベルギーのブリュッセルにあるSAP Solution Managerの実装担当チーム、そしてドイツのシステムサポート部門が、1つのプロジェクトチームとして協力しなければなりません。このような複数の国と地域にまたがるプロジェクトの場合、

どうすればうまく実装できるのでしょうか。課題は、高レベルの統合を実現することだけではありませんでした。すべての関係者がリソースを最大限効率的に利用できること、実装時のリスクを最小化すること、分散された構成設定の高い透明性を実現することが求められました。そこでHP社は、SAP Solution Managerを選択しました。

### カスタマイジング配信、その実現までの道のり

HP社が検証を開始したのは2003年11月。その後、パイロットプロジェクトがスタートしました。最初のタスクは、統合せずに分散させておく必要がある構成設定を確定することでした。HP社は、財務会計(FI)と管理会計(CO)の「一般設定」にある、特定のカスタマイジングオブジェクトに焦点を合わせました。プロジェクトチームは、通貨、換算レート、勘定グループ、企業コードなどのデータを1つの担当部門だけで管理し、これから実現しようとするマスターシステムにカスタマイジング配信によって移行することにしました。

カスタマイジング配信の検証フェーズが完了し、いくつかのソフトウェア関連の障壁が解消されると、いよいよ実装段階です。実装中は、分散すべきすべてのオブジェクトを完全に同期化し、容易に運用環境に移行することができました。また、送信および受信システムの登録作業も、SAP Solution Managerのシステムランドスケープを使うことで、比較的簡単に一括で行うことができました。次に、HP社は運用環境での分散シナリオを準備しました。このシナリオには、どの構成設定をいつ、どこに分散させるべきかについてすべての情報が含まれています。そして2004年7月、HP社はカスタマイジング配信を本稼働させました。

### リソースを大幅に削減する新しい手順

SAP Solution Managerを使用した実装はまだ途中段階にあるものの、HP社では全社的にカスタマイジング配信に取り組んでいます。現在、予定していたプロジェクト範囲のカスタマイジングボリュームの80%以上が、SAP Solution Managerによって自動的に分散されています。ベリンゲンにあるHP社のオフィスでSAP Center of Expertiseに所属するアンドレアス・ポット

(Andreas Pott)氏は、「私たちは、SAP Solution Managerによるカスタマイジング配信の適用範囲を徐々に拡大していく予定です。SAP Solution Managerは、カスタマイジングの分散や制御を効率的に行うための、安全で安定した方法を提供すると同時に、手作業に要するリソースを大幅に削減してくれます」と述べています。SAPはHP社との連携により、分散可能な構成設定の比率を増やしていく計画です。たとえば、現在の分散シナリオに、ベンダーデータ用の構成設定が追加される予定です。

メリットは明らかです。新しい手順によって、カスタマイズの労力とそれに関連する管理作業を最小限に抑えることができます。カスタマイジング配信では実際の分散処理が自動化されるため、特にシステム管理における手作業が大幅に削減されます。また、エクスポート/インポートの手順、さまざまな移送承認プロセス、カスタマイジング移送に関する詳細情報を保存するドキュメントフォルダなどが不要になります。

さらに、カスタマイズ担当者が比較的、自律的に作業できるようになり、移送依頼を発行すれば、残りの作業は分散機能に任せられます。Pott氏は、「送信および受信システムが米国にあり、SAP Solution Managerはブリュッセルにあったため、当初は分散シナリオが効率的に機能しないのではないかと心配していましたが、それは杞憂でした」と述べています。

移送依頼が発行されると、数分後には構成設定が受信システムに表示されます。また、いつでもカスタマイジング配信のログを参照し、分散されている構成設定の履歴を確認することができます。これにより透明性も向上します。

### SAP Solution Managerの広範な活用を推進

HP社は数年間にわたって、SAP Solution Managerを使用して同社のSAPアプリケーションを管理してきました。ローカルでのSAP Solution Manager使用から、サービス・レベル・レポートिंग(Service Level Reporting: SLR)を活用した、ビジネスプロセス監視のパイロットプロジェクトへ、さらにこのツールを分散システム全体に対して使うといった使い方で、対象となるアプリケーションの範囲は着実に拡大してきました。現在、アーリー・ウォッチ・アラート(Early Watch Alert: EWA)機能とSLRの段階的なグローバルロールアウトに向けて、すべてのビジネスユニットの統合が進められています。

HP社ではその他にも、SAP Solution Manager 3.2で提供される、変更依頼管理などのオプション機能について検討しています。SAP Solution Manager 3.2は、カスタマイジング同期に関して、受信システムのロック機構もサポートしています。これは、カスタマイジング配信への特別なリンクを必要としません。SAP Solution Managerを使えば、カスタマイジングの分散領域と、分散を使用した構成設定が適用できない領域の両方に、ローカルロック機構を一括で設定することができます。これにより、さらに包括的な構成管理が可能になり、ターゲットシステムにおける不要なカスタマイジングの変更を、高いレベルで防止することができます。

(Doreen Baseler, SAP AG)  
SAP INFO VOL.124より

SAP Solution Managerについての詳細  
<http://www.sap.com/japan/solutions/netweaver/solutionmanager/>  
 SAP Service Marketplace (サービスマーケットプレイス)  
<http://www.service.sap.com/solutionmanager/>  
 カスタマイジング配信に関する情報  
<http://www.service.sap.com/customizing/>